

令和5度「文化芸術による子供育成推進事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	伝統芸能	種目	邦楽
----	------	----	----

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	C区分
------	-----

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	有	申請総企画数	2企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しても、複数の企画を実施可能
--------------------	--------------------------

芸術文化団体の概要

ふりがな	ゆうげんがいしゃ しだら		団体ウェブサイトURL
制作団体名	有限会社 志多ら		https://www.shidara.co.jp
代表者職・氏名	代表取締役 大脇 聡		
制作団体所在地	〒 449-0203	最寄り駅(バス停)	とうえい温泉前
	愛知県北設楽郡東栄町大字東菌目字中林30		
電話番号	0536-76-1708		
ふりがな	わだいこ しだら		団体ウェブサイトURL
公演団体名	和太鼓 志多ら		https://www.shidara.co.jp
代表者職・氏名	演奏リーダー 鬼頭 孝幸		
公演団体所在地	〒 制作団体に同じ	最寄り駅(バス停)	制作団体に同じ
	制作団体に同じ		
制作団体 設立年月	1989年1月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役 大脇聡 取締役 加納千里	代表:1名 総務:3名 広報:1名 制作:1名	
事務体制 (専任担当の有無)	専任の事務担当者を置く	本事業担当者名	和田 健吾
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	加納 千里

<p>制作団体沿革</p>	<p>【有限会社 志多ら】 1989年 結成 1990年 本拠地を愛知県北設楽郡東栄町に移す 1994年 東栄町東蘭目の国の重要無形民俗文化財・花祭に「志多ら舞」を奉納 第1回東京国際和太鼓コンテストにて最優秀賞を受賞(組太鼓部門一般の部) 2006年「ライブ祭来」ツアーを全国で実施 2010年 アメリカツアーをアメリカ全土で実施 2022年 全国ツアー「響奏」「郷唄」「和気あいあい」を実施中 【和太鼓 志多ら 受賞歴】 2002年 愛知県特殊教育推進連盟より表彰 2010年 豊橋市文化奨励賞受賞 2012年 奥三河観光協議会より「奥三河ふるさと観光大使」に任命される 2015年 愛知県芸術文化選奨文化賞受賞</p>		
<p>学校等における 公演実績</p>	<p>平成6年より学校公演の実績あり 累計1100公演 平成30年度 「生命の力を、音に」 34カ所(自主公演) 平成31年度 「生命の力を、音に」 55カ所(自主公演) 令和 2年度 「生命の力を、音に」 実施16カ所・コロナの影響で延期、中止15カ所(自主公演) 令和 3年度 「生命の力を、音に」 実施13カ所・コロナの影響で延期、中止11カ所(自主公演)</p>		
<p>特別支援学校等における公演実績</p>	<p>平成30年度 愛知県立豊橋豊学校に「元気だ！ワッショイ！」の楽曲提供をし、太鼓指導を実施した 「生命の力を、音に」 中濃特別支援学校 芸術鑑賞会実施。 平成31年度 「生命の力を、音に」守山養護学校、くすのき特別支援学校 芸術鑑賞会実施</p>		
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>	
	<p>※公開資料有の場合URL</p>		
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>	
		<p>PW:</p>	

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 和太鼓 志多ら 】

対象	小学生(低学年)	○	
	小学生(中学年)	○	
	小学生(高学年)	○	
	中学生	○	
企画名	「和気あいあい」観て、聴いて、舞って学べる和楽器の世界		
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>【プログラム・楽曲構成】</p> <p>M-1 オープニングトーク</p> <p>M-2 江戸囃子・獅子舞 作曲:トラディショナル</p> <p>M-3 風天 作曲:藍羽(志多ら)</p> <p>M-4 ダウン州の輝ける星 作曲:トラディショナル(アイルランド民謡)</p> <p>M-5 体験コーナー(ワークショップ成果発表)</p> <p>M-6 飛龍 作曲:鬼頭孝幸(志多ら)</p> <p>休憩(10分)</p> <p>M-7 お楽しみコーナー</p> <p>M-8 チャラップアラッパ 作曲:吉田章彦(志多ら)</p> <p>M-9 楽器紹介</p> <p>M-10 天流るる雲 作曲:杉浦充(志多ら)</p> <p>M-11 華田楽 作曲:鬼頭孝幸(志多ら)</p> <p>M-12 明神山 作曲:藍羽(志多ら)</p> <p>アンコール CHA CHA CHA 作曲:藍羽(志多ら)</p> <p>※アンコールは基本的に実施いたします。</p> <p>※M-5は体験です。</p> <p style="text-align: right;">公演時間 80 分</p>		
著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要 否	該当あり	該当コンテンツ名 プログラム内で使用する楽曲(著作権が 志多ら及びその専属演奏家に帰属する楽 曲を除く)
	該当事項がある 場合	権利者名 JASRAC	許諾確認状況 採扱後手続き予定
演目概要	<p>M-1 オープニングトーク 挨拶や自己紹介、篠笛という楽器の簡単な紹介を行います。</p> <p>M-2 江戸囃子・獅子舞 日本古来より伝わる芸能であり、お正月などおめでたい時に縁起物として登場する獅子。関東祭囃子の一つ、江戸囃子に乗せて寿獅子を披露します。</p> <p>M-3 風天 担ぎ桶太鼓と篠笛で演奏者が舞台を駆け回り、子どもたちと手拍子で盛り上がります。</p> <p>M-4 ダウン州の輝ける星 アイルランドに伝わる民謡の一つで、陽気で明るい雰囲気曲です。児童たちには簡単なリズムを手拍子で打って頂き、ゲーム感覚で篠笛と一緒に演奏します。</p> <p>※M-5 体験コーナーについては体験の形態に記述します。</p> <p>M-6 飛龍 和太鼓をドラムのように並べて打つ奏法”組太鼓”と篠笛によるセッション。天高く龍が暴れ回る様をテーマにした、激しく勢いのある楽曲です。</p> <p>休憩</p> <p>M-7 お楽しみコーナー その時に子どもたちの間で流行っている楽曲を選び、和楽器によるアレンジ演奏をします。</p> <p>M-8 チャラップアラッパ チャップと呼ばれる全国各地の芸能で使われる鳴り物の様々な奏法を用いて、特有の小気味の良い音色をお届けします。</p> <p>M-9 楽器紹介 今回のプログラムで演奏する和楽器(長胴太鼓、附締め太鼓、桶胴太鼓、チャップ、篠笛)を、演奏者が様々なエピソードを交えて1つずつ紹介します。篠笛紹介の際には、子供たちの中で今話題のJPOP曲を篠笛で演奏します。</p> <p>M-10 天流るる雲</p> <p>M-11 華田楽 東北の芸能“盛岡さんさ”をテーマとしたオリジナル楽曲。本場さながらの踊りを交え、華やかに舞台を盛り上げます。</p> <p>M-12 明神山 和太鼓志多らの活動拠点である東栄町にそびえる山が曲名になっており、日々の暮らしから感じることを曲にするという志多らの活動</p>		

	<p>理念から、身近な自然をテーマに生まれた楽曲です。</p> <p>アンコール CHA CHA CHA 複数の担ぎ桶太鼓で会場内を駆け巡りながら演奏する楽曲です。曲の最後は、子どもたちに手拍子で参加していただき、公演を締めくくります。</p>		
<p>演目選択理由</p>	<p>M-1 オープニングトーク 児童たちとの心の距離を縮めてからライブに入っていきます。</p> <p>M-2 江戸囃子・獅子舞 篠笛による「江戸囃子」に合わせて獅子が舞います。この江戸囃子はお正月になると街中でよく耳にする印象的なメロディーです。子供たちにもなじみのあるものかと思えます。また、和楽器という器楽そのものではなく、日本で最も盛んにおこなわれている民俗芸能である獅子舞という意味でもしっかりと鑑賞していただきたい</p> <p>M-3 風天 担ぎ桶太鼓と呼ばれる和太鼓と篠笛と呼ばれる日本の横笛が使用されます。子の楽曲を通して子供達には一般的に和太鼓と呼ばれるものが、実は多岐にわたるといこと。そして、篠笛と和太鼓という和楽器同士の親和性に触れていただく時間となります。</p> <p>M-4 ダウン州の輝ける星(アイルランド民謡) ここであえてアイルランドの民謡を選択しております。今多く普及している篠笛は調律がしっかりと取れており、ドレミに洋楽も演奏することができます。和楽器で演奏される西洋の音楽という組み合わせを体感していただきたいと思えます。また、続く体験コーナー前に、手拍子参加をしていただくことで、子供たちの注意を演奏者に向けていただく時間でもあります。</p> <p>※M-5 体験コーナーについては体験の形態に記述します。</p> <p>M-6 飛龍 この楽曲は即興の要素が高く、組太鼓と篠笛の掛け合いはまるで激しい攻防戦で、音楽バトルとも言えます。休憩時間も近いため、子供たちの体につい力が入ってしまいますような楽曲を選択いたしました。</p> <p>休憩</p> <p>M-7 お楽しみコーナー 知っている曲を演奏することで、篠笛という楽器により親しみを感じて頂けると思えます。</p> <p>M-8 チャラップアラッパ 和楽器は和太鼓だけではありません。普段目にしたことがないような楽器を主役にした楽曲で学びの充実を図ります。</p> <p>M-9 楽器紹介 子供たちに「知識」としての学びの機会を持っていただきたく思えます。今日の前にしている楽器が一体どういう目的で何から作られて今こうして演奏されているのかという背景を知っていただきます。</p> <p>M-10 天流るる雲</p> <p>M-11 華田楽 オリジナル楽曲ではありますが、その中身は民俗芸能であります。太鼓を用いた芸能というつながりから、子供たちには自然と全国の幅広い芸能に触れていただければと思います。</p> <p>M-12 明神山 日々の生活の中で生み出される音楽を感じていただきたい。日本の自然などの郷土の景色を感じられる楽曲となっているので、情景と音楽の結びつきを学んでいただきます。</p> <p>アンコール CHA CHA CHA 音楽コンサートにおける「アンコール」とは、我々演奏者にとって名誉なことです。子供たちがこの90分のプログラムを受け、自然ともう少し見たいという気持ちを抱いていただいた場合に、それにお答えさせていただく演目です。最後は会場内をたくさんの笑顔でお別れとさせていただきます。</p>		
<p>児童・生徒の共演、参加又は体験の形態</p>	<p>M-5 体験コーナー(ワークショップ成果発表) ワークショップでの成果発表がそのまま体験内容となります。 本番は十数名の発表者の方には演技スペースにて志多らの演奏家と舞の共演を行います。前に出てきていただく子供たち以外の鑑賞している方も、手拍子や掛け声での参加をしていただけるようにご案内します。 なお、体験人数に関しては持ち込む太鼓の台数を変更することで調整が可能です。</p>		
<p>出演者</p>	<p>宮崎光政、鬼頭孝幸、布施洗芽 計3名</p>		
<p>本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む</p>	<p>出演者: 3 名 スタッフ: 1 名 合 計: 4 名</p>	<p>運搬</p>	<p>積載量: 1 t 車 長: 6 m 台 数: 1 台</p>

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み	無	前日仕込み所要時間		時間程度	
	到着	仕込み	上演	内休憩	撤去	退出
	10:00	10:00～12:00	13:00～14:30	10分	14:30～16:00	16:00

※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。

本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月	10月	
	10日	5日	0日	0日	0日	
	11月	12月	1月	計	15日	
	0日	0日	0日			

※平日の実施可能日数目安をご記載ください。

児童・生徒の 参加可能人数	本公演	共演人数目安	16
		鑑賞人数目安	400

(図1) 体育館舞台なし



体育館を縦方向に使用します。舞台設置に必要な最小面積は横11m×縦6mです(図1)。

なお、感染症対策という観点から多くの学校様に演技スペースと子供たちの最前列の間に2mほどの空間を設けるご要望もいただいております。詳しくはご相談ください。

音響機材は篠笛の演奏とMC、および入退場時の場内BGMに使用するものを持込させていただきます。照明による演出は本番中の暗転なども含めて行いません。

(図3) 体験の様子



(図4) 演目の様子



公演に係るビジュアルイメージ
(舞台の規模や演出や
がわかる写真)

※採択決定後、採
択団体へ図面等詳
細の提出をお願い
します。

【公演団体名 和太鼓 志多ら 】

児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	80
<p>ワークショップ 実施形態及び内容</p>	<p>標準:90分</p> <p>①演奏者が登場します(10分) 子供たちとのファーストコンタクトです。集団の紹介を兼ねた演奏を数分実施したのち、個人の紹介を行いワークショップの中身へと進んでいきます。</p> <p>②登場の後、篠笛を中心に和楽器の紹介を行います。(10分) 篠笛の起源や歴史について、子供たちにもわかりやすい表現で説明します。 例:篠笛って何からできているのかな?大きさまや長さの違いってなんであるの?</p> <p>③子供たちに国の重要無形文化財に触れていただきます。(20分) 参加している子供たちみんなに「花祭り」を体験していただきます。 和太鼓志多らの拠点である愛知県奥三河に古くから伝わり、国の重要無形文化財に指定されている花祭りですが、地域住民であり私たちから直接レクチャーを行います。 この時点で参加者の皆さんを笛、太鼓、舞い(踊り)と掛け声の3パートに分けます。 休憩(10分)</p> <p>④パートごとに練習を実施します。(30分) 笛のパートでは篠笛に代わってリコーダーをメインに練習をしていただきます。これは、篠笛の音が出せるようになるだけで時間を要してしまうため、本来の文化財に触れていただく主旨が達せられなくなることを防ぐためです。ただ、楽器としての難しさも体験していただきたいので、数名の児童生徒には実際に触れていただきます。 太鼓パートでは1台の太鼓で2名まで体験していただけます。参加者の人数が多くなった場合は交代で実施、もしくは手拍子や前述の口唱歌で参加してもらいます。 舞いのパートでは扇子を使用します。花祭り特有の掛け声もここで練習します。 使用する道具は志多らで用意させていただきますが、笛パートのリコーダーのみは学校側でご用意いただけます。</p> <p>⑤体験後は質問コーナーに移ります。(10分) あらかじめ生徒さんには質問を用意していただき、それに当日お答えします。質問の内容は和太鼓や篠笛などの和楽器に関するものから、日本の民俗芸能、志多らの日常生活についてなど幅広くお答えします。当日の質問ももちろん対応します。</p>		
<p>ワークショップの ねらい</p>	<p>和楽器の歴史から、日本の伝統芸能や祭りの本質について学んでいただきます。 和太鼓志多らの拠点である愛知県奥三河に古くから伝わり、国の重要無形文化財に指定されている花祭りですが、これは国の重要無形民俗文化財であり、地域住民でもある私たちはその文化の継承をになっております。そんな私たちから直接生の祭りを体験していただく機会は大変貴重な経験になるかと思えます。 また日本音楽や芸能特有である”間”を合わせることで、周りど”息を合わせる”、お互いを感じて”心を通わせる”ということを体感していただきます。</p>		
<p>その他ワークショップに 関する特記事項等</p>			

C区分で事業を実施するに当たっての工夫

【公演団体名

和太鼓 志多ら

】

<p>C区分で事業を実施するに当たっての工夫</p>	<p>i) 離島・へき地等における公演実績</p> <p>平成29年度 「生命の力を、音に」 佐久間小学校芸術鑑賞会 平成30年度 「生命の力を、音に」 浦川小学校芸術鑑賞会 平成31年度 「生命の力を、音に」 鳳来寺東小学校芸術鑑賞会 4年度(予定) 「生命の力を、音に」 浦川小学校芸術鑑賞会</p> <p>ii) 離島やへき地等の地理的に特殊な事情がある地域で実施する上での工夫や、小規模な公演であっても公演及びワークショップの質を保つための工夫</p> <p>【特殊な事情がある地域での実施にあたっての工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太鼓のサイズを1周り小さいものに変え、機材全体をコンパクトにし、移動しやすいように工夫する 【質を保つための工夫】 ・本公演では、照明の持ち込みはしないが、自然光での工夫や学校に既存の機材をできるかぎり利用し対応していく ・音響機材に関しては、コンパクトなものに変更する <p>iii) C区分申請における、小規模な公演の観点から実施する経費削減等についての工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1台の車両(ハイエース)に楽器、機材を収めて移動することにより、運搬費用を圧縮する ・各学校の体育館にある機材を有効利用する ・照明は持ち込まず、自然光で鑑賞できるよう工夫する ・音響機材に関しては、音の質をさげることなく、コンパクトな機材を利用する。学校の規模によつては、音響機材を使用せず、生の音で実施する
----------------------------	---

平
令和

・音響

・各
・照
・音